

～消費者の適切な行動が社会や環境を変える～

令和3年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：消費者施策における持続可能な社会の実現に関する研究

研究代表者：宮古短期大学部 准教授 齋藤香織

課題提案者：岩手県立県民生活センター 藤本さとえ

研究メンバー：谷藤真琴（宮古短期大学部）

瀬川敏彦、須田智昭、金野重夫（岩手県立県民生活センター）

技術キーワード：エシカル消費、消費者志向経営、SDGs

▼研究の概要（背景・目標）

岩手県内の消費者においては、持続可能な社会の実現に向けて、人や環境、社会に配慮するエシカル消費の認知度が向上しており、興味や行動意欲も高まってきている。こうした消費者の意識や行動の変化に対応するため、事業者および消費者教育を推進する行政において、どのような施策が必要であるのかを検討する。

▼研究の内容（方法・経過）

1. 調査対象：岩手県内の小売事業者
 2. 調査方法：Webによるアンケート調査
およびヒアリング調査
 3. アンケート設計のための事前調査内容：
 - ・現在のエシカル消費の取り組み状況
 - ・エシカル消費に関する今後の施策や課題
 4. 事前調査期間：2021年12月～2022年3月
 5. 本調査実施予定期間：2022年6月以降
- ※事前調査結果を踏まえ、アンケートを再設計して本調査を開始する。

▼研究の成果（結論・考察）

1. エシカル消費として分類される活動や行動は多岐にわたり、消費者だけでなく小売事業者においても、どのような活動や行動がエシカル消費促進につながるのか、理解が十分でないことがある。
2. 企業としての目標が企業内で統一されていても、アンケート調査においては、回答者の立場や役職等によって、回答が変わる可能性があるため、設問項目の工夫が必要である。

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1. 本研究で得られた成果を踏まえたアンケートを作成し、次年度、県内小売事業者に対するアンケート調査を本格的に実施する。
2. エシカル消費に対して積極的な取り組みを実施している企業へのヒアリング調査を行い、取り組み事例を整理する予定である。
3. 事前調査実施にあたり、ご協力いただいた企業様に感謝申し上げます。



図1. 消費者庁（2018）リーフレット『エシカル消費ってなあに？』

(3) 毎日の生活の中で、あなたはどのようなことに心掛けていますか。

- あてはまるものを全て選んでください。
- ① エコ商品など環境に配慮した商品を選んで購入している
 - ② フェアトレード商品を選んで購入している
 - ③ 福祉作業所でつくられたものなど、障がい者支援につながる商品を選んで購入している
 - ④ 地元の産品を選んで購入している
 - ⑤ 買い物の際は不要なレジ袋や過剰な包装は辞退している
 - ⑥ 食べ残しを減らす等食品ロスの削減に努めている
 - ⑦ 家庭での節水や節電に努めている
 - ⑧ 職場でのクールビズやウォームビズに努めている
 - ⑨ その他
 - ⑩ 特に心掛けていることはない

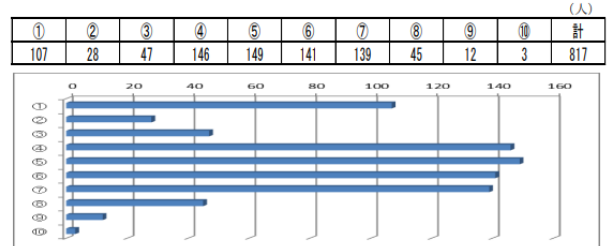


図2. 岩手県民の消費行動における意欲
(出典) 岩手県立県民生活センター（2019）, 『令和元年度第3回希望郷いわてモニターアンケート 消費生活に関する意識調査報告書』